



参加費
無料
申込み
不要

Final

やんばるのタ・カ・ラ・モ・ノ

— みんなでやんばるの魅力を伝え、つなぐ —

第 4 回

2月16日(日)13:30 国頭こども園ホール

やんばる共同店の可能性

宮城 能彦



一般社団法人地域学び合い研究所代表。沖縄大学人文学部こども文化学科教授。共同店ファンクラブ会員。那覇市出身。1999年より現職。専攻は社会学、地域社会論。共同売店の可能性について、地域社会での位置づけや役割、地域活性化について研究している。著書に「奥むらの戦世の記録—やんばるの沖縄戦」(榕樹書林、2018)、「誇りある沖縄へ」(共著：小学館、2008)、「共同売店物語」(監修：(株)加楽可楽)など

◆ゲスト

奥田 直久 (環境省大臣官房審議官)

目黒の自然教育園の近くで生まれ育ち、大学では林学を専攻。1986年に環境庁入庁。中部山岳国立公園ではレンジャーとして駐在。90年代以降、JICAの国際協力事業や在ケニア日本大使館勤務等で世界各国を訪問。那覇自然環境事務所長、野生生物課長などを経て、2018年よりサイバーセキュリティ・情報化審議官。

阿部 治 (立教大学社会学部教授)

新潟県生れ。立教大学ESD研究所所長。ESD活動支援センター長。元日本環境教育学会会長。東アジアにおける環境教育/ESDの国際協力の推進と国内におけるESDの制度化、地域創生としてのESDに関する実証研究等を行っている。国頭村には10年以上前から学部生・大学院生のゼミ合宿等でほぼ毎年訪れている。

荒谷 邦雄

(九州大学大学院比較社会文化研究院教授)

専門は生物多様性科学。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。2010年より現職。これまでに世界中を飛び回って50種近い新種のクワガタを発見・記載している。ここ10年はヤンバルテナゴコガネやオキナワマルバネクワガタ、水生昆虫類の保全のために毎月のようにやんばるを訪問している。



◆ファシリテーター **桑子 敏雄** (一社)コンセンサス・コーディネーターズ代表)

東京大学文学部哲学科・大学院博士課程修了。東京工業大学大学院教授、同リベラルアーツセンター長を経て、東京女子大学教授。1999年に上梓した『環境の哲学』が建設省の目に留まり、公共事業の合意形成にかかわるようになる。国頭村では、森林地域ゾーニング計画、景観計画、観光振興計画の策定事業等に携わる。

やんばる学シンポジウム

主催*国頭村企画商工観光課・(財)自治総合センター

全 4 回

講演会&豪華ゲスト
によるお話と座談会

これまでのシンポジウムの内容は裏面☺
詳しい内容は、国頭村企画商工観光課までお問い合わせください。